増設ＳＣＳＩ制御装置 Ｍ３Ｄ－ＳＣＳＩＵ１ ご使用の手引

増設ＳＣＳＩ制御装置Ｍ３Ｄ－ＳＣＳＩＵ１は、三菱パーソナル・コンピュータ apricot ＣＸ６１０シリーズＰＣ本体装置の拡張スロットに増設するオプション製品です。
本ご使用の手引をよくお読みになり、正しくお使いください。

目次

１．　同梱品 ---------- 3

２．　ＳＣＳＩ制御装置増設の前準備 ---------- 3

３．　対応オペレーティング・システム ---------- 6

４．　増設手順の概要 ---------- 7

５．　ＰＣ本体への増設 ---------- 7

６．　ＳＣＳＩデバイスとの接続 ---------- 8

７．　ＢＩＯＳ　Ｓｅｔｕｐユーティリティの設置と
　　ＳＣＳＩＳｅｌｅｃｔユーティリティ ---------- 9

８．　ソフトウェアのインストール ---------- １２

９．　トラブル・シューティング ---------- １５

１０．仕様 ---------- １６

Adaptec®, EZ-SCSI™, SCSISelect™は Adaptec Inc.の商標です。
Microsoft®, MS®, MS-DOS®, Windows® および WindowsNT® は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

1. 同梱品

本製品には、次のものが含まれていますので、確認してください。

- ＳＣＳＩ制御装置
  （Adaptec® AHA-2940UW ホストアダプタボード）
- ＳＣＳＩ制御装置専用ソフトウェア一式
- 内蔵ＳＣＳＩデバイス接続用ＳＣＳＩケーブル１本（注１）
- 説明書（英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語）
  「HP Ultra Wide SCSI Host Adapter Board D6951A Installation Guide」

（注１）内蔵ＳＣＳＩデバイスに専用のケーブルが付属している場合は、デバイスに付属のケーブルを使用し、本ＳＣＳＩ制御装置に付属のケーブルは使用しないでください。

2. ＳＣＳＩ制御装置増設の前準備

ＰＣ本体装置、ＳＣＳＩ制御装置とも、静電気によって破壊・故障に至る可能性がありますので、本ＳＣＳＩ制御装置に触れる前に、先ず、ＰＣ本体装置の無塗装の金属部分に触れてください。または、ＰＣ本体装置の無塗装の金属部分に静電気防止用のリスト・バンドをつなげ手首に巻いてください。

本ＳＣＳＩ制御装置を扱う際には、装置背面と装置上端部をつまんでください。下端のメッキ部分には手を触れないでください。

[ご注意]

ＣＸ６１０　Ｗｉｎｄｏｗｓ９５プリインストールモデル（Ｍ３Ｄ３１－Ｊ２５ＡＣ）で本ＳＣＳＩ制御装置を使用する場合、増設前に既に使用中のＵＳＢ、サウンドあるいはパラレルポートのいずれかのリソースを解放する必要があります。Ｗｉｎｄｏｗｓ９５上のデバイスマネージャからリソースの使用状況を確認し、以下の手順に従って、リソースの解放を行ってください。

＜ＵＳＢのリソースを解放する場合＞

(1)電源投入時、POST 画面で[F2]キーを押します。

(2)Ｓｅｔｕｐ設定画面上で、「Advanced」画面の「Integrated USB Interface」を選択します。

(3)「Integrated USB Interface」の値を[Disabled／PnP OS]に変更します。

(4)[ESC]キーを２回押します。

(5)「Exit」画面で「Exit Saving Change」を選択します。

(6)[Enter]キーを２回押してＢＩＯＳ　Ｓｅｔｕｐを終了し、再起動します。

(7)Ｗｉｎｄｏｗｓ９５が起動したら、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。

(8)[システム]アイコンをダブルクリックします。

(9)[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

(10)[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]アイコンをダブルクリックします。

(11)[Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller]をダブルクリックします。

(12)[情報]タブの"このハードウェア環境で使用不可にする"のチェックボックスをチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

(13)[システムのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックします。

＜サウンドのリソースを解放する場合＞

(1)電源投入時、POST 画面で[F2]キーを押します。

(2)Ｓｅｔｕｐ設定画面上で、「Advanced」画面の「Integrated Audio Interface」を選択します。

(3)「Integrated Audio Interface」の値を[Disabled]に変更します。

(4)[ESC]キーを２回押します。

(5)「Exit」画面で「Exit Saving Change」を選択します。

(6)[Enter]キーを２回押してＢＩＯＳ　Ｓｅｔｕｐを終了し、再起動します。

＜パラレルポートのリソースを解放する場合＞

(1)Ｗｉｎｄｏｗｓ９５上で、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。

(2)[システム]アイコンをダブルクリックします。

(3)[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

(4)[ポート(COM&LPT)]アイコンをダブルクリックします。

(5)[ECP プリンタポート]をダブルクリックします。

(6)[情報]タブの"このハードウェア環境で使用不可にする"のチェックボックスをチェックし、[OK]ボタンをクリックします。

(7)[システムのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックします。

上記のいずれかの手順を実施してリソースを１つ解放した後、Ｗｉｎｄｏｗｓ９５を終了してＰＣ本体装置の電源を切り、ＡＣケーブルを抜いた上で、本ＳＣＳＩ制御装置をＰＣ本体装置に増設してください。

３．　対応オペレーティング・システム

本ＳＣＳＩ制御装置は、下記オペレーティング・システム（以下ＯＳ）に対応しており、本書では、ＣＸ６１０シリーズＰＣ本体装置の各ＯＳプリインストール・モデルに本ＳＣＳＩ制御装置を設置する方法について説明します。

- Ｗｉｎｄｏｗｓ９５　ＯＳＲ２
- Ｗｉｎｄｏｗｓ９８
- ＷｉｎｄｏｗｓＮＴ４．０

[ご注意]
以下のＯＳについては、ＣＸ６１０シリーズＰＣ本体装置は対応しておりませんので、ご注意ください。

- ＯＳ／２　２．１，ＯＳ／２　Ｗａｒｐ３，および、ＯＳ／２　Ｗａｒｐ４
- Ｎｅｔｗａｒｅ　３．ｘ，および、４．ｘ

[ご注意]
ＷｉｎｄｏｗｓＮＴサービスパックについて

ＷｉｎｄｏｗｓＮＴサービスパックがプリインストールされているＰＣ本体装置（ＣＸ６１０　モデルＭ３Ｄ３１－Ｊ２５ＡＮ）については、本ＳＣＳＩ制御装置増設、および本ＳＣＳＩ制御装置専用のソフトウェアをインストールした後に、必ず、ＷｉｎｄｏｗｓＮＴサービスパックを再インストールしてください。
また、ＰＣ本体装置によっては、実際のご使用に当たってビデオ・ドライバ等のソフトウェアドライバを再度インストールする必要がある場合もありますので、ご注意ください。
ＷｉｎｄｏｗｓＮＴサービスパックの詳しいインストール手順については、ＰＣ本体装置に付属の『ＣＸ６１０　ユーザーズガイド』を参照してください。

４．　増設手順の概要

本ＳＣＳＩ制御装置の増設については、以下（１）～（４）の４段階の手順が必要です。
設置を効率良く、且つ、確実に行うために、以下の４段階の手順を必ず遵守してください。

（１）本ＳＣＳＩ制御装置のＰＣ本体装置への増設
（２）ＳＣＳＩデバイスへの接続
（３）ＣＸ６１０　ＢＩＯＳ　ＳＥＴＵＰユーティリティの必要箇所の設定変更
（４）本ＳＣＳＩ制御装置専用Ｓ／Ｗのインストール

本ＳＣＳＩ制御装置増設・Ｓ／Ｗインストール時に問題等発生した場合には、「９．トラブル・シューティング」の項を参照し確認してください。

5.　ＰＣ本体への増設

本ＳＣＳＩ制御装置をＰＣ本体装置に増設する手順は以下の通りです。
また、（１）～（４）および（６）の手順について、詳しくはＰＣ本体装置に付属の『ＣＸ６１０　ユーザーズガイド』を参照してください。

（１）ＰＣ本体装置、および周辺装置の電源を切ります。電源ケーブルをコンセントから抜きます。

[ご注意]

しばらく時間をおいてからＰＣ本体装置の内部を操作してください。電源を切った直後は、内部の部品が熱くなっていることがあり、やけどの原因になりますのでご注意ください。

（２）ＰＣ本体装置に接続されているケーブルをすべて取り外します。

[ご注意]

ＰＣ本体装置の内部操作の前に必ず電源ケーブルを抜いてください。

（３）『ＣＸ６１０　ユーザーズガイド』、「カバーの取り外しと取り付け」の「カバーの取り外し」を参照の上、カバーを取り外ししてください。
（４）『ＣＸ６１０　ユーザーズガイド』、「アクセサリーボードの交換／増設」を参照の上、ＰＣＩスロットへ本装置を増設してください。
（５）本ＳＣＳＩ制御装置装着後、確実に装着されていることを確認してください。
（６）『ＣＸ６１０　ユーザーズガイド』、「カバーの取り外しと取り付け」の「カバーの取り付け」を参照の上、カバーを取り付けてください。

6. ＳＣＳＩデバイスとの接続

（1）内蔵ＳＣＳＩデバイス

- 内蔵ＳＣＳＩデバイスに添付の説明書、およびＰＣ本体装置に付属の『ＣＸ６１０　ユーザーズガイド』を参照して、ＳＣＳＩデバイスをＰＣ本体装置に取り付けてください。
- 内蔵ＳＣＳＩデバイスに専用のケーブルが付属している場合は、デバイスに付属のケーブルを使用して内蔵ＳＣＳＩデバイスと本ＳＣＳＩ制御装置を接続してください。

  [ご注意]

  パリティ・チェック機能をサポートしていないＳＣＳＩデバイスを一つでも接続する場合には、パリティ・チェック機能を無効に設定してください。
- 接続の際は、本ＳＣＳＩ制御装置上端のコネクタ（高密度シールド型６８ピン）と接続してください。

  [ご注意]

  ＳＣＳＩデバイスに付属のケーブルを使用せず本ＳＣＳＩ制御装置に付属のケーブルを使用すると、電波障害が発生したり、正常に動作しないことがあります。

（2）外部接続ＳＣＳＩデバイス

- 外部接続ＳＣＳＩデバイスに添付の説明書を参照して、ＳＣＳＩデバイスを本ＳＣＳＩ制御装置に接続してください。

  [ご注意]

  本ＳＣＳＩ制御装置の外部コネクタは、シールド型６８ピン／高密度（ピンタイプ）ですが、一般にＳＣＳＩコネクタには何種類かありますので、ＳＣＳＩデバイスのコネクタ形状も確認してケーブルを用意してください。
- 一般にＳＣＳＩデバイスは入力用と出力用の２個のコネクタを備えていますので、ディジーチェーン（いもづる式接続）により複数の外部ＳＣＳＩデバイスを接続することができます。
- ディジーチェーンした外部ＳＣＳＩデバイスの最後の装置（本ＳＣＳＩ制御装置から最遠端のＳＣＳＩデバイス）にはターミネータ（終端抵抗）を接続する必要があります。外部ＳＣＳＩデバイスによっては、スイッチなどでターミネータを有効にできる場合もありますので、外部ＳＣＳＩデバイスに付属の説明書でご確認ください。

  [ご注意]

  パリティ・チェック機能をサポートしていないＳＣＳＩデバイスを一つでも接続する場合には、パリティ・チェック機能を無効にしてください。

7.　　ＢＩＯＳ　Ｓｅｔｕｐユーティリティの設定と
ＳＣＳＩＳｅｌｅｃｔユーティリティ

本ＳＣＳＩ制御装置を増設後、ＢＩＯＳ　ＳｅｔｕｐユーティリティとＳＣＳＩＳｅｌｅｃｔユーティリティの両方で適切な設定を行います。

（1）ＢＩＯＳ　Ｓｅｔｕｐの設定

1) ＰＣ本体装置を起動します。
2) 電源投入時、ＰＯＳＴ画面で[Ｆ２]キーを押します。
ＢＩＯＳ　Ｓｅｔｕｐユーティリティが起動します。

以下に記載した手順は参考例です。機種によりＳｅｔｕｐの設定項目などが異なることがありますのでご了承ください。

3) ＯＳの種類に応じて「Advanced」の[PnP Operating System]の値を確認、変更します。

- Ｗｉｎｄｏｗｓ９５または Ｗｉｎｄｏｗｓ９８の場合、[Yes]になっているか
- ＷｉｎｄｏｗｓＮＴの場合、[No]になっているか

4) ＨＤＤなどのＳＣＳＩデバイスからブートする場合、ＳＣＳＩデバイスがブートデバイスとして正しく設定されているか確認します。
- 「Boot」の[Hard Disk Drives]を選択し、一覧の中でブートさせたいＳＣＳＩ ＨＤＤが最初にくるように設定します。
- 「Boot」の[Boot Device Priority]で[Hard Drive]の順番が[Removable Devices]より下で、[ATAPI CD-ROM Drive]など他のデバイスより上になるように設定します。

（2）ＳＣＳＩＳｅｌｅｃｔユーティリティの設定

1) ＰＣ本体装置を起動します。
2) “Press <Ctrl><A> for SCSISelect(TM) Utility!”と表示されたら、 [CTRL]キーと[A]キーを同時に押してください。ＳＣＳＩＳｅｌｅｃｔユーティリティが起動します。 （[CTRL]と[A]キーを同時に押しても起動しない場合は[CTRL]と[Q]キーを押してください）

3) [SCSI Configure Automatically(SCAM)]が[Disabled]になっているかを以下の手順で確認します。

   [Configue/View Host Adapter Settings]の[Advanced Configuration Options]を選択します。
   [Plug and Play SCAM Support]の項目を[Disabled]に設定します。

4) ＳＣＳＩデバイスに対応した適切なデータ転送速度を設定します。
- 外付けＳＣＳＩデバイスを接続する場合、データ転送速度を以下の手順で 20MB/Sに設定することをお勧めします。
- 内蔵ＳＣＳＩデバイスを接続する場合、データ転送速度を以下の手順で 40MB/Sに設定してください。

   [Configue/View Host Adapter Settings]の[SCSI Device Configuration]を選択します。
   ＳＣＳＩデバイスのＳＣＳＩ ＩＤで[Maximum Synch Transfer Rate]の値を[20.0]または[40.0]に設定します。

5) 同一ＳＣＳＩ制御装置、ＳＣＳＩケーブル上に接続されている各ＳＣＳＩデバイスについて[SCSI Parity Checking（データ転送エラーの検出）]を[Enabled]または[Disabled]で統一します。
   - 同一ＳＣＳＩケーブル上に接続されている**<u>いずれかの</u>**ＳＣＳＩデバイスがパリティチェック機能を持っていない場合、**<u>すべての</u>**ＳＣＳＩデバイスの[SCSI Parity Checking]を[Disabled]にします。
   - ＳＣＳＩデバイスの種類によってはＳＣＳＩ Ｓｅｌｅｃｔユーティリティの設定だけでなく、ＳＣＳＩデバイス上のジャンパ設定でパリティチェックを無効/有効化する必要がある場合があります。

6) ＳＣＳＩターミネーションが正しく行われているか確認します。

- 外付けＮａｒｒｏｗ ＳＣＳＩデバイスの場合は、[Configue/View Host Adapter Settings]の[Host Adapter SCSI Termination]を[Low OFF/High ON]に設定します。
- その他のデバイスの場合は、[Configue/View Host Adapter Settings]の[Host Adapter SCSI Termination]を[Automatic]に設定します。

ＳＣＳＩデバイスの使用にあたっては、本ご使用の手引以外にＳＣＳＩデバイスに添付のマニュアルも必ずお読みください。

８．　ソフトウェアのインストール

[ご注意]
以下のソフトウェアインストールに先立って本ＳＣＳＩ制御装置が正しく増設、設定されていることをもう一度確認して下さい。

（1）ＥＺ－ＳＣＳＩ　Ｌｉｔｅ４．０２のインストール

ＥＺ－ＳＣＳＩは接続されたＳＣＳＩデバイスを管理する為のユーティリティです。また各ＳＣＳＩデバイスのＳＣＳＩ　ＩＤなど各種情報を確認するために使います。
ＥＺ－ＳＣＳＩの詳細なインストール方法は“Adapter EZ-SCSI 3/3”のフロッピーディスクにあるＲＥＡＤ．ＴＸＴをご覧ください。

（2）Ｗｉｎｄｏｗｓ９５用ドライバのインストール

[ご注意]
Ｗｉｎｄｏｗｓ９５モデルでご使用の場合、本ＳＣＳＩ制御装置を増設する前に既に使用中のＵＳＢ、サウンドあるいはパラレルポートのいずれかのリソースを使用不可（リソースを１つ開放する）にする必要があります。リソースの解放に関しては、「２．ＳＣＳＩ制御装置増設の前準備」を参照して行ってください。リソース解放後、本ＳＣＳＩ制御装置を増設してください。

1) ＰＣ本体装置を起動します。本ＳＣＳＩ制御装置が自動的に検出され、
Ｗｉｎｄｏｗｓ９５標準のＳＣＳＩドライバが組み込まれます。ドライバ組み込後、再起動を求めるダイアログが表示された場合は、[はい]ボタンをクリックし再起動してください。
2) その後、以下の手順でＳＣＳＩドライバのアップデートを行います。

3) [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。
4) [システム]アイコンをダブルクリックします。
5) [デバイスマネージャ]のタブをクリックします。
6) デバイスリスト一覧から[SCSI コントローラ]アイコンをダブルクリックします。
（[SCSI コントローラ]アイコンが見つからない場合は、[その他のデバイス]
アイコンをかわりにダブルクリックしてください。）
7) [Adaptec AHA2940U/AHA2940UW PCI SCSI Controller]または[PCI SCSI Controller]
アイコンをダブルクリックします。

8)[ドライバ]タブをクリックし[ドライバの更新]をクリックします。
9)[はい（通常はこちらを選んでください。）]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
10)“このデバイス用の更新されたドライバが見つかりませんでした。…”と表示された画面で、[場所の指定]ボタンをクリックします。
11)“Adapter Driver Installation 1/3”のフロッピーディスクを入れて、場所欄に“A:\WIN95”と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
12)“このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。”という画面で、[完了]ボタンをクリックするとファイルのコピーが始まります。
13)コピー中にシートを要求するダイアログが表示されたら[OK]ボタンをクリックし、ファイルのコピー元欄に“A:\WIN95”と入力後、[OK]ボタンをクリックします。
14)コピー完了後、再起動を求めるダイアログが表示されるので[はい]ボタンをクリックし再起動してください。

（3）Ｗｉｎｄｏｓ９８用ドライバのインストール

1)ＰＣ本体装置を起動します。
2)本ＳＣＳＩ制御装置が自動的に検出されるので、デフォルト設定のまま[次へ]ボタンをクリックして進みます。
3)最後に[完了]ボタンをクリックすると、Ｗｉｎｄｏｗｓ９８標準のＳＣＳＩドライバが組み込まれます。ドライバ組み込み後、再起動を求めるダイアログが表示された場合は、[はい]ボタンをクリックし再起動してください。

（4）ＷｉｎｄｏｗｓＮＴ４．０用ドライバのインストール

1)ＰＣ本体装置を起動します。
2)[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。
3)[SCSI アダプタ]アイコンをダブルクリックします。
4)[ドライバ]タブをクリックします。[追加]ボタンをクリックします。
5)[ディスク使用]ボタンをクリックします。
6)“Adapter Driver Installation 1/3”のフロッピーディスクをセットします。
7)“a:\winnt\4_0”と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
8)“Adaptec AHA290x/291x/294x/394x/4944/AIC78zz PCI SCSI Controller（NT4.0）”を選択し、[OK]ボタンをクリックします。ここで間違って ULTRA2 ドライバを選択しないようにご注意ください。
9)ダイアログが表示されたら“a:\winnt\4_0”と入力し、[OK]ボタンをクリック

します。

10) ドライバ組み込み後、再起動を求めるダイアログが表示されますので、[はい]ボタンをクリックしてください。

11) “Adapter Driver Installation 1/3”を取り出します。

12) 再起動後、ＰＣ本体装置に添付されているＮＴサービスパックを再度インストールしてください。

９．　トラブル・シューティング

本ＳＣＳＩ制御装置が動作しない等の問題が発生した場合には、以下の内容についてご確認ください。
確認の結果、正しくインストールされていない場合には、もう一度、本書、および、ＰＣ本体装置の取扱説明書（ＣＸ６１０　ユーザーズガイド)、接続したＳＣＳＩデバイスに付属の取扱説明書等を参照して、正しく増設の上インストールしてください。

- 本ＳＣＳＩ制御装置はＰＣ本体装置に正しく装着されていますか？
- 内蔵ＳＣＳＩデバイスとの接続、外部ＳＣＳＩデバイスとの接続で使用しているケーブルコネクタは正しく挿入されていますか？
- 接続した全てのＳＣＳＩデバイスに正しく電源供給されていますか？
- 接続した全てのＳＣＳＩデバイスは正しく終端されていますか？
- 接続したＳＣＳＩデバイスは全て固有のＳＣＳＩ　ＩＤを保有していますか？
- 接続したＳＣＳＩデバイスの中にパリティ・チェック機能をサポートしていないものがあるにも関わらず、本ＳＣＳＩ制御装置のパリティ・チェック機能を有効に設定していませんか？
- ＰＣ本体装置のＢＩＯＳ　Ｓｅｔｕｐユーティリティは正しく設定されていますか？
- Ｓ／Ｗのインストールは正しく行われましたか？
- ＷｉｎｄｏｗｓＮＴ４．０搭載のＰＣ本体装置で、本ＳＣＳＩ制御装置を増設し、Ｓ／Ｗをインストールした後、サービスパックを再インストールしましたか？

１０．　仕様

種別	Wide Ultra SCSI ホストアダプタ （16 ビット SCSI-3 対応）
インタフェース	68 ピン Ultra SCSI コネクタインタフェース
サイズ	● 高さ：97㎜ ● 長さ：168㎜
環境条件（動作時）	● 温度：５～３５℃ ● 湿度：８５％RH（於：＋５５℃）
電源条件	動作電圧：＋５V±５％ @６５０mA（最大）
その他	ＰＣＩバス　Ｒｅｖ２．１